



兵庫支部 NEWS H15 3月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集人 福田 要・安徳信義

<http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono333> antoku@ethnic.co.jp

購読料 12回 1,500円 (送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座 00980-5-184445
口座名 北九州市立大学同窓会兵庫

兵庫支部「歩こう会」3月例会 12ホ 3/9(日) 綾部山梅林観梅



篠井の清水 前にて +撮影者



白梅のもと撮影会の盛況



梅林にて昼食・観梅

+++++

北友会ニュースより

平成 15 年度総会期日変更 **9月21日(日)**

場所 東京虎ノ門パストラルにて開催

なお、評議・支部長会は前日 9月20日(土)

同日、ひまわり会(支部代表女性会員 1名)

平成 15 年度**第 1 回評議会**は 5月17日開催

第 19 回三金ゴルフ会予告

時日 **3月30日(日)** 午前8時集合

場所 プレジデントカントリー倶楽部

詳細は <http://www.ethnic.co.jp/sankin-golf.htm>

兵庫支部と関西支部 囲碁交流会



9月 29日

S39 米英 銭谷勘一郎

まだまだ寒い日が続いていますが、ベランダのチューリップが芽を吹き出し、すこしづつですが、春を知らせているようです。関西支部と兵庫支部の囲碁交流会が、去る2月21日(金)午後1時から大阪の囲碁サロン「刻(トキ)」において開催されました。

関西支部からは炭木六段(北九大囲碁部出身)、都留三段(関西囲碁クラブ会長)、村上二段、福田二段(ゲスト)、永浜初段、井上一級六名が参加。兵庫支部からは銭谷二段(兵庫囲碁の会会長)、平間初段、山本三段、名越五級、安徳九級が参加しました。

各々自己紹介の上、早速対局となりました。全くの初対面にもかかわらず、盤面をはきんで石を打ち始めると、はや、旧知の感あり、同窓と「囲碁」の持つ素晴らしさでしょうか。

とにかく、初めてのことなので、段級位は自己申告、一段級差一子のハンデ戦とし、勝ち負けにこだわらず、大いに楽しむこととしました。熱戦を繰り広げ、各々四・五局を楽しむ間に、早くも別れの時間となる。今回の対抗戦成績は、有段者を揃えた関西支部の方々に分があり、7勝5敗のご成績でした。

今回は団体戦、個人戦の企画を練り、秋口に開催、場所も神戸市内となる予定です。それまで互いに腕を磨くことを約して、散会しました。



インドレストラン **シャンティ**

MEMBER'S CARD for only
The University of Kitakyushu

営業時間 11:00~21:30 (ラストオーダーは21:00)
[Http://www.ethnic.co.jp](http://www.ethnic.co.jp) JR 芦屋モンテメール 5 F

TEL 0797-35-4807

入店の際にこれを見せただくとより一層のサービスをさせていただきます
44年商卒 安徳信義

T.U. TRADE SERVICE, LTD.

中国関係輸出入代行とサプライヤーの紹介
S44年卒 米英 植松 久治 元気で～ず。
TEL 078-367-2386

明石市；昭和 24 米英浜本昭治、昭和 29 米英友井恒雄、昭和 39 商内田直之、昭和 41 米英名倉勝征、昭和 41 米英竹下之啓、昭和 42 * 米名倉久子、昭和 44 米英長岡豊雄、昭和 44 商安德信義、昭和 45 国文隅信、昭和 46 中国村上幸、昭和 45 経営富阪貢、昭和 46 国文土居勲、昭和 46 英文立石暢宏、昭和 47 経営白水陽一、昭和 48 国文吉田洋子、昭和 48 米英安部賢雄、昭和 49 * 米小西久代、昭和 49 国文吉田晴治、昭和 50 英文小林佐恵子、昭和 51 中国尾崎和美、昭和 52 経営近石弘、昭和 53 中国浮田清美、昭和 53 経営松田雅樹、昭和 55 経営田中祐行、昭和 55 経営田中祐行、昭和 56 法律小川俊幸、昭和 57 経済石永慶治、昭和 59 経済後藤達津彦、昭和 61 経済寺嶋悟司、昭和 61 英文青木啓知、昭和 62 米英松本素美、昭和 62 経済信岡康則、平成 03 中国正木陽子、平成 05 経営児玉房代、平成 04 経済神田睦子、平成 06 中国田中綾、平成 06 経済池田弥生、平成 06 経済加納順也、平成 06 経済鷹取功一、平成 06 経済山本謙吾、平成 08 法律入江公將、平成 08 法律三村誠、平成 10 経情藤村宣之、平成 12 人関花田美芽、

洲本市；昭和 58 米英浅川泰弘、昭和 63 経営水野茂、平成 03 法律椋本啓太郎、平成 06 英文前田恭宏、

加古郡；昭和 44 中国久芳健二、昭和 52 経済藤原修実、昭和 61 英文大賀房江、平成 08 中国田上淑子、平成 11 経済松田哲弥、平成 11 行政四之宮利明、平成 13 行政敏本幸、

津名郡；平成 11 英専吉田光宏、平成 13 中専東根牧、

三原郡；昭和 62 中国桐本雅子、平成 06 国文野尻雄市、

西兵庫

加古川市；昭和 40 米英高橋琢也、昭和 45 国文森陽子、昭和 47 * 米松本一幸、昭和 47 経営市川徳司、昭和 48 米英大井薫、昭和 48 経営松浦剛、昭和 48 国文由利啓、昭和 51 英文清水美子、昭和 54 経営斎藤芳典、昭和 55 経営寺尾博文、昭和 56 英文野口浩二、昭和 58 経済御橋弘充、昭和 59 米英稲山和夫、昭和 59 法律宮崎協子、昭和 59 政治市川正広、昭和 60 米英御橋こずえ、昭和 62 英文塩本雅則、昭和 63 * 米片岡太、昭和 63 英文坂田嘉一、平成 01 英文松下智博、平成 02 経営三村和彦、平成 03 法律小林豊、平成 05 経営堀之内陽子、平成 05 経済山田美智代、平成 07 経営梶谷勝昭、平成 08 国文兼田隆司、平成 09 中専森明昌、平成 09 人係宮部薫、平成 12 経情榎本貴美恵、平成 12 行政吉嶺登、平成 14 経情後藤信宏、

高砂市；昭和 43 * 米出口一明、昭和 45 英文長井利充、昭和 46 英文長井啓子、昭和 56 * 米小林雅人、昭和 58 * 米永田邦彦、昭和 58 英文大澤真紀、昭和 59 経営吉川太加男、昭和 59 国文野村岬、昭和 60 * 米大西英毅、昭和 60 中国楽原裕明、平成 02 中国千葉弥生、平成 05 経済谷山雄司、平成 06 政治細川暢二、平成 09 法律今川秀樹、平成 10 経情水出偉久、平成 13 経済西谷陽介、平成 13 経情和田真一郎、

姫路市；昭和 33 商大野光男、昭和 34 商久保昌男、昭和 38 商去川統治、昭和 38 商後藤公一、昭和 41 米英葉室新人、昭和 41 商永翁正臣、昭和 44 米英手塚博美、昭和 44 商永富博文、昭和 44 経営中尾清光、昭和 47 英文北村恒義、昭和 48 経営高橋義則、昭和 48 経済八木謙悟、昭和 50 米英江藤洋子、昭和 50 米英吉田英夫、昭和 50 経営中西秀直、昭和 49 中国山崎みどり、昭和 50 国文江藤幸嗣、昭和 50 英文矢野真由美、昭和 52 法律三原健、昭和 53 米英田中真理、昭和 53 経営田中慎一、昭和 54 経営河野正、昭和 54 経営岡井英勝、昭和 55 * 米山下源三、昭和 55 経営森下芳雄、昭和 55 経営山順三、昭和 56 米英林あづさ、昭和 56 経営栗岡茂、昭和 56 法律浦上寿一朗、昭和 57 米英西崎善久、昭和 57 経営由利幸嗣、昭和 57 経済岩城要、昭和 57 国文中石政治、昭和 58 英文由利絵理子、昭和 59 経営山根宏和、昭和 59 経済野村恵一、昭和 59 法律砂原勇、昭和 60 * 米俵谷甲子郎、昭和 60 経営三村秀樹、昭和 60 経営三村晴美、昭和 60 経営中川明、昭和 60 経済白岡隆広、昭和 61 経営岸本清則、昭和 61 経営糸井俊英、昭和 62 米英高橋英太郎、昭和 62 経営中嶋幹雄、昭和 63 経済柴田澄弘、昭和 63 経済友定三恵、昭和 63 法律松田浩之、平成 01 経済雲丹亀良彦、平成 01 英文森美樹、平成 01 経研太田裕之、平成 02 英米作田真一、平成 02 英文松本久永、平成 02 * 米西谷浩二、平成 03 法律細田聡、平成 03 中国大崎香代子、平成 03 経営小澤孝一、平成 03 経営堀越宣秀、平成 03 政治余黒功規、平成 04 経済今永利明、平成 05 経営山口敦也、平成 06 国文八杉由美、平成 07 経営大杉卓三、平成 07 経営岸本真、平成 07 経営前田奈美、平成 08 英米稲田恭子、平成 08 経済反橋寛武、平成 08 法律岩根聡一郎、平成 09 経済藤原周行、平成 09 法律三輪肇、平成 10 経済内海浩美、平成 10 行政北澤篤、平成 10 経済妹尾真一、平成 11 国関荒木久美子、平成 11 国関毛利嘉子、平成 10 経情岩村貴子、平成 12 経情紙上昭章、平成 12 人関高濱格也、平成 12 法律白井裕基、平成 12 行政高橋英男、平成 13 法律浅田梢、平成 13 法律中村幸平、平成 13 行政細田健彦、平成 14 経済宗行修司、

赤穂市；昭和 46 経営井上一久、昭和 46 経営大谷義興、昭和 46 国文岸容子、昭和 51 * 米山本高司、昭和 56 経営多井弘子、昭和 60 経営家根郁代、昭和 61 経研樋本優、平成 01 英米箱根尚子、平成 02 経済立坂義雅、平成 11 国関末永良子、平成 13 国関本家浩一、

相生市；昭和 36 商河野暢夫、昭和 58 米英石原隆成、昭和 58 経済奥藤幹夫、昭和 62 米英古香康裕、平成 02 英文小林弘昌、平成 02 英文小林弘昌、平成 07 経営中田恵子、平成 09 法律土井本子、平成 12 * 米西本美穂、

竜野市；昭和 34 米英富井道彦、昭和 50 経済の之崇泰、昭和 54 経営瀬川孝博、昭和 57 経済田中恵子、昭和 59 経営松本浩行、昭和 59 経営松芳啓之、平成 06 経営高原一政、平成 06 経済田中静典、平成 07 中国井口忠士、平成 09 中専内海茂良、平成 10 法律小河光徹司、

飾磨郡；昭和 59 経済上野康平、昭和 60 法律橋本英知、

揖保郡；昭和 33 米英廣橋弘毅、昭和 36 米英玉田修一、昭和 46 国文山本美知子、昭和 47 経営高津康裕、昭和 51 経営矢木敏彦、平成 04 国文五所尾俊哉、平成 08 英米水田敏宏、平成 08 経済改野裕史、平成 09 行政田淵吾吾、平成 10 経情竹内隆哲、平成 10 法律松本尚之、平成 12 経情中村徳行、

赤穂郡；昭和 40 米英赤松初夫、昭和 49 中国福井克司、昭和 53 経済梅田安信、昭和 56 経営西川泰弘、昭和 62 経済西村卓也、昭和 63 経済中谷忠彦、平成 09 中国長安美恵、

作用郡；昭和 47 経済平岡守、昭和 50 米英岡本幸一、昭和 52 国文稲田久富、昭和 56 中国谷口孝治、

宍粟郡；平成 04 経営平野千夏、平成 05 英文下村祐子、昭和 48 経済藤林英男、昭和 49 経営竹内克司、平成 14 人関尾家美紀、

神崎郡；昭和 50 国文興梶幸恵、昭和 57 経営渡辺重人、昭和 59 英文森下讓、平成 05 中国福永佐智代、平成 06 法律大野弘樹、平成 11 経情児島洋平、平成 12 * 法山内富美子、平成 13 人関板垣ゆみ、

中兵庫

三木市；昭和 40 商三宅祥太、昭和 42 米英幅田妙子、昭和 49 国文前野愛子、昭和 50 * 米小坂美代子、昭和 50 経営中島光重、昭和 50 英文藤原昌一、昭和 51 国文春名智寿子、昭和 51 国文春名敏彦、昭和 52 英文井上薫、昭和 56 経営住野宏仁、昭和 59 法律有川昭次、平成 01 経済長永敏司、平成 03 中国斎藤誠、平成 03 経営河野繁、平成 03 経済藤原健一、平成 05 法律上川麗子、平成 10 経済小山直成、平成 13 法律持永大輔、

小野市；昭和 42 商元田幸治、昭和 48 中国井上裕平、昭和 52 国文養父雄一、昭和 60 経営西尾泰則、昭和 60 経済蓬萊博明、昭和 63 経営柳田剛宏、平成 01 経営藤本邦晴、平成 02 経営井上孝山樹、平成 02 経営關橋一浩、平成 03 経営賀内保、平成 04 経営河田裕之、平成 05 経営西尾嘉洋、平成 08 経済副田浩慶、平成 09 法律山崎淳、平成 11 経情河合啓貞、平成 13 比文山本雄大、

加西市；昭和 48 中国田中かほる、昭和 59 米英高橋信之、昭和 55 経済古井秀和、昭和 61 法律小幡秀典、昭和 62 米英福田隆幸、平成 01 経済園井秀和、平成 11 中専井上忠良、

西脇市；平成 02 中国佃千登世、平成 05 経営橋口昌史、平成 08 法律村上展英、平成 09 経済坂本久長、平成 11 経情藤原大介、

加東郡；昭和 31 米英福田要、昭和 34 米英井上孝、平成 03 経済渡邊章好、平成 12 国関井上恵、

多可郡；昭和 54 国文大内隆、昭和 56 経営中川義博、平成 02 英米小林文子、平成 08 英文増田佳子、

氷上郡；昭和 59 経営堂本憲造、平成 04 英米泉純夏、平成 06 英文水野順子、

北兵庫

豊岡市；昭和 56 米英森田孝、昭和 56 法律今井智理、昭和 57 国文岡本久美子、昭和 60 国文小山英男、昭和 61 経営大倉俊昭、昭和 62 経済谷口啓、昭和 62 国文澤田毅、昭和 62 国文大倉香生里、平成 07 英米鳴海智子、平成 12 比文亀村美紀、

潮来郡；昭和 44 米英竹田秀寿、昭和 50 英文橋爪貞夫、昭和 58 * 米衣川泰子、平成 11 英専松野健司、

養父郡；昭和 41 中国鎌田昭三、平成 12 英専森本哲也、平成 12 法律田村朋代、

出石郡；昭和 58 法律保田親紀、平成 09 経済山内真弘、平成 13 行政三浦匡人、

城崎郡；昭和 63 経営宮口美範、平成 01 国文北村哲哉、

美方郡；昭和 52 経営西垣音秀、昭和 53 米英渡部幹男、平成 06 経済矢野和彦、平成 10 英文坂本彰男、

以上(変更・誤記は ご連絡を)

東兵庫

兵庫支部同窓会地区別名簿 (敬称略)

(*米は *米英の略)

尼崎市；昭和 31 米英徳光美智子、昭和 34 中国三浦成雄、昭和 35 商堤孝、昭和 38 米英西勝二郎、昭和 43 *米平原堅志、昭和 45 経済笹田進、昭和 48 経営大中正晴、昭和 50 国文橋崎美子、昭和 51 経済宅島優美雄、昭和 52 経営岩崎俊二、昭和 52 国文西直子、昭和 57 英文八木正雄、昭和 57 政治八木正博、昭和 58 経営福田剛士、昭和 58 経営橋本寛敏、昭和 59 政治木野村靖、昭和 59 政治杉本浩司、昭和 62 経済前田謙二、昭和 62 国文石田久美子、昭和 63 経営秋山昌嗣、平成 03 経営米田恭二、平成 04 経営水谷洋一、平成 05 法律北綾子、平成 06 経済吉田浩二、平成 08 法律小田浩之、平成 09 英専高田三佳子、平成 09 *行山口誠、平成 12 経情山口成樹、

西宮市；昭和 24 米英金山千治、昭和 24 米英川野芳美、昭和 24 米英谷口政彦、昭和 25 米英井上信之、昭和 25 米英都築保、昭和 32 米英佐藤久人、昭和 32 商仙頭成登、昭和 34 商関岡重美、昭和 35 商藤田博保、昭和 36 *米麻生英輔、昭和 38 商黒田博海、昭和 40 中国中垣徳男、昭和 41 商酒井邦俊、昭和 42 米英伊藤志津夫、昭和 42 商米谷正、昭和 44 米英村上実依子、昭和 44 中国福原照世、昭和 44 商安東孝司、昭和 45 経営佐々木章太郎、昭和 45 経済石田和三、昭和 45 英文伊東宏、昭和 46 経営西本信二、昭和 46 国文大西敏、昭和 47 2 英近藤文雄、昭和 47 経営首藤勉、昭和 48 *米武藤憲介、昭和 48 経営晴佐久芳樹、昭和 48 経済浦濱勇、昭和 49 米英石井澄夫、昭和 49 経済三瀬幸夫、昭和 51 米英山口清春、昭和 52 国文荒尾京子、昭和 52 国文巽ひとみ、昭和 53 国文川崎祐子、昭和 53 法律川崎初美、昭和 55 法律鈴木哲、昭和 56 経営税所雅英、昭和 56 英文玉田正人、昭和 57 中国山本勝彦、昭和 56 国文福本英俊、昭和 57 国文替地祐二、昭和 59 米英牛尾哲夫、昭和 61 米英芦田展幸、昭和 61 経営芦田加奈子、昭和 62 経営吉川千恵、平成 02 米英瀬信和、平成 02 経営岩淵義徳、平成 02 国文田代圭子、平成 05 法律松岡謙治、平成 06 法律押川幸広、平成 07 経営藤原正和、平成 07 経済浦川恒、平成 07 経済高馬勝典、平成 07 経済西原宏、平成 09 経済衛藤慎一、平成 09 法律櫻田健太、平成 10 経済松石篤典、平成 11 法律居川虎生、平成 13 中専飯屋あい、平成 13 経済山田慎二、

川西市；昭和 37 商中切諄一、昭和 37 商平間正昭、昭和 38 中国山田渡四郎、昭和 39 商奥本進、昭和 40 米英大井靖、昭和 40 中国伊丹治甫、昭和 41 中国西村勝弘、昭和 44 米英高瀬敦子、昭和 46 米英京西次郎、昭和 52 米英松田光珍、昭和 57 政治今井正人、昭和 58 中国岩田早苗、昭和 60 米英山中みどり、昭和 60 法律釜本隆之、昭和 60 法律尾辻美佐、昭和 60 法律尾辻美樹、平成 01 英米戸堀恵子、平成 05 経営秋山敏、平成 06 米英濱津徹、平成 06 英文横川佳子、平成 07 経済引間龍太、平成 08 経済上野隆雄、平成 10 経済齋藤雅章、平成 12 比文鄭敬子、

伊丹市；昭和 43 中国野本義智、昭和 44 経営綾部耕一、昭和 44 経営石川秀夫、昭和 45 経営中島正憲、昭和 48 経営栗林正志、昭和 48 国文戸田登代美、昭和 50 経営森脇保夫、昭和 59 米英南まり、昭和 63 経営美馬伸一、平成 01 英米佐藤子、平成 03 英文栗崎知恵、平成 06 経営片桐勝也、平成 07 経済宮崎賢次郎、平成 10 経済小島慶士、平成 11 中専今福さやか、

亶市；昭和 36 商新海正尚、昭和 37 中国渡辺匡徳、昭和 37 商野田敏郎、昭和 37 商村上勝幸、昭和 38 米英原田睦夫、昭和 38 商平雅文、昭和 40 商本明寛、昭和 42 商古田隆紀、昭和 43 米英平井義信、昭和 44 米英浜田勝義、昭和 44 米英津田修治、昭和 44 商山田紘昭、昭和 46 経済荒川紀彦、昭和 47 米英藤丸正剛、昭和 47 経営緒方勇、昭和 47 経済三浦正司、昭和 47 英文木本祥子、昭和 48 経営白木滋人、昭和 48 経済井上哲男、昭和 49 米英井上弘之、昭和 49 米英沖定男、昭和 49 米英沖智嘉子、昭和 49 *米米森優一、昭和 50 米英梅田哲、昭和 50 英文徳原恵美子、昭和 51 国文山中里美、昭和 53 経済岡本真佐樹、昭和 53 英文高島裕子、昭和 54 米英岩田友子、昭和 54 米英岩田久仁雄、昭和 55 経済山本良二、昭和 57 経営河村隆一、昭和 58 経済阪上一也、昭和 61 政治半田洋、昭和 62 米英松田孝英、平成 01 *英高坂健彦、平成 03 英米三ツ矢祥子、平成 09 中国岡田知也、平成 09 経済島田直彦、平成 09 人関新田美穂、平成 10 経情岡村眞一、平成 10 経情渡邊竜史、平成 11 経済浅田雄一朗、平成 12 比文上阪天宏、平成 14 法律谷口佳枝、**三田市**；昭和 25 中国松田成実、昭和 33 商戸田徳治、昭和 43 米英藤原球志、昭和 46 中国荻野和義、昭和 46 経営駒井一久、昭和 50 経営佐藤幸人、昭和 50 国文多川栄子、昭和 50 国文多川晶、昭和 53 英文難波慎二、昭和 54 米英上野実、昭和 56 米英吉沢章子、昭和 56 経済難波早苗、昭和 57 経営大下欣也、昭和 60 英文福山康司、平成 01 政治森岡秀記、平成 10 経営加川澄廣、平成 13 比文福井裕紀子、

篠山市；昭和 57 経済森田祐秀、平成 06 英文田中泰子、

川辺郡；昭和 37 商内山正憲、昭和 40 中国斉藤一、昭和 43 商荒木政治、平成 01 英米勝間みどり、平成 01 経営勝間行仁、平成 13 法学衣笠智広、

多紀郡；昭和 47 経営谷村高夫、

南兵庫

芦屋市；昭和 24 米英山中道子、昭和 44 商長瀬正春、昭和 46 経営小阪田勲、昭和 48 経営上田進、昭和 53 英文馬奈木紀子、平成 06 経済中島あかね、平成 10 経情藤原由順、

神戸市；昭和 26 米英木下欣吾、昭和 28 米英横尾喜明、昭和 31 米英馬場清、昭和 32 米英尾瀨矩也、昭和 32 米英堀江淳之、昭和 32 米英河内山俊男、昭和 33 商大村実良、昭和 33 商岩崎直彦、昭和 33 商鷹野哲雄、昭和 34 商杉山剛太、昭和 35 米英斉藤慧、昭和 35 商豊田康雄、昭和 35 商緒方信義、昭和 35 商伊藤亘、昭和 36 中国吉田弘規、昭和 36 商高尾巖、昭和 36 商河野旺生、昭和 37 米英山本信司、昭和 37 米英名越英昭、昭和 37 中国浅野康平、昭和 37 商森下毅夫、昭和 38 米英二宮慶治郎、昭和 38 米英植田照久、昭和 38 中国藤沢一範、昭和 38 中国土井英二、昭和 38 商植山俊雄、昭和 38 商三賀森忠靖、昭和 39 米英岡田喜朗、昭和 39 米英吉本富雄、昭和 39 中国安本義親、昭和 39 中国浜本郷一、昭和 39 商湯ノ谷宏之、昭和 39 商近松司、昭和 40 米英楠本正孝、昭和 40 米英増田照美、昭和 40 中国里見捷弘、昭和 40 商沼尾竜二、昭和 40 商前原賢作、昭和 41 米英竹下勇、昭和 42 英大村俊美、昭和 42 中国中瀬隆夫、昭和 42 商瀬川隆史、昭和 42 商伊藤佐登志、昭和 43 米英石田匠、昭和 43 米英原田道子、昭和 43 中国安本勢、昭和 44 米英谷忠昭、昭和 44 米英川村進、昭和 44 *米植松久治、昭和 44 商河田賢一、昭和 44 商山松仁、昭和 44 経営福永憲彦、昭和 44 経営沢田英憲、昭和 45 米英高山行雄、昭和 45 米英高橋政雄、昭和 45 中国田副忠亮、昭和 45 経済藤本正和、昭和 45 経済津崎久雄、昭和 45 経済隈元徳雄、昭和 45 国文中井和久、昭和 46 米英平田渡、昭和 46 中国野田彰男、昭和 46 中国森園良樹、昭和 46 *米国広敏文、昭和 46 経営川戸啓司、昭和 47 米英正井充子、昭和 47 米英中森真由美、昭和 47 米英森護、昭和 47 経営平山元紹、昭和 47 経済米司一夫、昭和 47 英文高尾賢一、昭和 48 中国平良登美子、昭和 48 中国平松守、昭和 48 経営河南善博、昭和 48 経営大賀誠、昭和 48 経営大西博行、昭和 48 国文今池英一、昭和 48 国文中尾憲一、昭和 49 中国中尾泰憲、昭和 49 経営水取ふみ子、昭和 49 経営井上あさみ、昭和 49 英文長谷川英雄、昭和 49 英文八木紀代子、昭和 49 英文八木司朗、昭和 50 経営小野成彦、昭和 50 経営藤本典樹、昭和 50 経済福重賢治、昭和 51 米英熊沢武博、昭和 51 中国村上心一郎、昭和 51 中国牛丸敬孝、昭和 51 英文黒川富美、昭和 52 米英綿加久子、昭和 52 米英御手洗陽子、昭和 52 中国村上三喜子、昭和 52 中国那須和子、昭和 52 英文石田照雄、昭和 52 法律牛丸真寿美、昭和 53 米英中村富代、昭和 53 中国海士部進、昭和 53 経済藤本栄二、昭和 54 米英落合二郎、昭和 54 英文原眞理子、昭和 54 法律奥田幸美、昭和 55 経営久保博靖、昭和 54 英文原眞理子、昭和 54 法律奥田幸美、昭和 55 経営久保博靖、昭和 55 経営能瀬一人、昭和 55 国文政本康之、昭和 55 国文政本裕子、昭和 56 経営佐原忠史、昭和 56 法律大神直也、昭和 57 経営田口正夫、昭和 57 経済渡辺久倫、昭和 58 *米隅田隆之、昭和 58 経営山北忠志、昭和 58 経済原田豊士、昭和 58 政治松林浩正、昭和 59 中国三宅隆志、昭和 59 経営濱野哲也、昭和 59 経営横尾雅也、昭和 59 法律米田幹生、昭和 59 政治加藤公堂、昭和 60 経営孝岡史利、昭和 60 英文黒木睦子、昭和 61 *米石井喜代香、昭和 62 法律藤鉄浩幸、昭和 63 経営田垣久、昭和 63 経営三隅健二、平成 01 *英安部高之、平成 01 経営倉本達、平成 01 経済石橋信宏、平成 01 法律井形典幸、平成 01 政治稲田信彦、平成 02 経営富士田和正、平成 02 法律塩津晴恵、平成 03 経営染矢佳代、平成 03 政治大久保一将、平成 03 政治菅原崇行、平成 04 中国福原麻里、平成 04 経営宇磨谷清、平成 04 経営小野孝文、平成 04 経営木村直人、平成 04 経営多留広幸、平成 05 経営北村賢、平成 05 経営中山健二、平成 05 経営西山太郎、平成 05 経営寺内淳一郎、平成 05 経営森信治、平成 05 経営安妻和幸、平成 05 経営岩崎雄一、平成 05 経営宇野茂、平成 05 経営高木優子、平成 06 英米首藤和美、平成 06 経営鶴目昭夫、平成 06 経営長谷川英昭、平成 06 経営藤田泰典、平成 06 経営宇磨谷明、平成 07 中国後藤晶子、平成 07 経営武貞真理司、平成 07 経営萩原浩二、平成 07 経営原雅人、平成 07 経営平井兵武、平成 07 経済武田英明、平成 08 中国谷口啓啓、平成 08 経営三田徹、平成 08 経営梶原泰宏、平成 08 経営佐伯義夫、平成 08 経営中山洋一、平成 08 経済岩田知恵、平成 08 法律佐藤研二、平成 08 政治岩崎美由紀、平成 08 政治森本千恵、平成 09 中専坂上順子、平成 09 経営加久石欣也、平成 09 経済香山亮、平成 10 国関今村大介、平成 10 経済原口芳幸、平成 10 経済前田愛子、平成 10 経情大道周他、平成 10 経情佐藤修哉、平成 10 法律藤岡哲司、平成 10 経済田中理志、平成 11 中専和田健治、平成 11 国関加藤貞、平成 11 国関野村由美、平成 11 経済藤原邦洋、平成 11 比文小西健司、平成 11 比文近藤奈緒、平成 11 比文中村安彦、平成 11 法律園田泰之、平成 11 法研佐藤博志、平成 12 経済島村裕司、平成 12 経済山本紳一郎、平成 12 経情藤本淳一、平成 13 国関村田眞一、平成 13 経情高谷健太郎、平成 13 行政松原健、平成 14 中専黒澤章子、平成 14 国関角田斉、平成 14 国関森恭子、平成 14 経情福井聖治、平成 14 人関楠本和志、平成 14 政治見野甚九郎、

♪♪♪ ラジオウォークで ♪♪♪

S31 米英 徳光美智子

「そらになる心は春の霞にて世にあらじともおもひ立つかな」西行の歌を口ずさみながら、私は毎日新聞の「耶馬台国の道ラジオウォーク」10kコースを歩き続けた。携帯のMBSラジオからは、耶馬台国が九州か畿内かの論争が行われていた。「魏志・倭人伝」に「京城から一万二千余里、南水行二十日、南のかた投馬国に至る。水行十日陸行一月南、耶馬台国に至る。女王の都する所なり」と。伊都国、不弥国、奴国、投馬国を経て耶馬台国に辿り着いたとある。古代のルーツを辿るという事、昔のよすがを確かめるという事には興味をそそられる。



「歩こう会」綾部山行にて

伊都国は今の北九州で、母校の50周年祭に卒業以来始めて訪れた。その懐かしい小倉の地図を眺めていると、紫川上流に、徳光と徳光橋というバス停がある。私の姓と同じ、興味を覚えて確かめに行った。徳光橋という橋は暗渠になっていて今はないとの事だったが、思い出すのは、やはり石川県の松任にも県道の道路標識に徳光、徳光橋があった。

富山県生まれの私は帰省のたびに北陸道の徳光パーキングエリアを利用し、そこをそぞろ歩きするとき、いつも気になる大きな松の木があり、その古木は徳光八坂神社の境内にあった。県道に出ると、徳光と徳光橋の標識がある。ひっそりと美しい桜の花に彩られ、広々とした田園風景の中にあった。

先日ツアー誌を見ているとカニの王者「間人かに」とあり、地図には竹野川の上流に徳光という地名がある。早速今回の兵庫支部メール会で検索して見た。間人は聖徳太子の母の名で、用明天皇の皇后。丹後町間人の後ヶ浜海岸には、間人皇后と聖徳太子の母子像があるとの事で、ここでも思いを飛躍させ、私の妄想がひらめく。投馬国の事である。北海道の小樽で鯨漁をしていた本家に寄った際、古い書状を見せられた。それには、お寺の墓地から墓石を船に積んで確にお引き渡ししましたという能登国羽昨郡東間の住職の署名があった。その後富山からの帰路、8号線の石動から人気のない俱利伽藍の山を抜け寺を訪れた。700m位の宝達山の麓にあり、昔はその名の通り金銀ざくざくの宝の山だったとの事、清らかな水のきれいな川も流れていて、金沢の地名もここに由来するかと思ってみたりした。宝達山には伝説の森・モーゼパークがあり、散田金谷古墳公園がある。私は東間と投馬国とを勘違いしていた。当地では東間と書いてアズマと云う。寺からは広々とした緑の水田が広がり、能登の碧い海が見えた。近くの末森城には、とてつもなく広くて大きな礎石がある。ここで私の妄想がまたも飛躍する。これらは「徐福」の足跡では！

万里の長城を築いた偉大な秦始皇帝の強権のもと、徐福はその残忍な一族抹殺から逃れるため、不老不死の薬を探すとの理由で、良家の子女三千人・五穀百工を引きつれ、東海日本の地にユートピアを求め海を渡って来た。各地に倭人との同和策をとり、秦の追求から逃れ、日本の弥生時代に中国王朝文化で日本の国造にも貢献したのではなからうか。妄想はとどまるところを知らない。私は四国八十八ヶ所詣りで満願を果たしたが、富山県生まれの私に気付くような地名、氷見、朝日、二上山、高岡とか、石川県の美川、小松、野々市までも四国にあり、それは徳光城と称し、片岡城と云うなど重複するものがあった。

MBSラジオの伍芳さんのきれいなお声で「いにしへにありけむ人もわが如かみわの檜原にかざし折りけむ」と。あの柿本人麻呂さへも悠久の大古をしのんで、いにしへの人とも伝わって来る。「耶馬台国ウォーク」も箸墓古墳、纏向遺跡、ホ

ケノ山古墳まで来た頃には雨も大降りとなり、大和三山も「なにも見えぬは大和と思へ」で万葉人も私のように雨に濡れて歩いていたかも。朝10時より6時間程、10kあまり歩きつづけてやっとゴールの大神神社に着いた。

☆☆☆ 水道と電気がなかったら？ ☆☆☆

(インドより第2回)

S44 米英 高森千賀子

水道供給システムに異常があったのか、ここ半月以上も水道供給がなかった。私の住んでいる借家は村の中心地にあるので、水道管が家の外までできている。そこにホースとモーターを接続して取水する。水道といっても時には濁った褐色の水のときがある。

水の配給は、係りのおじさんの気分次第ではないかと思うほど気促だ。1日に朝夕2回、朝か夕方方の1回、または1日置きや2～3日に1回だったり、1週間全くないというような調子だ。供給時間も一定していない。概して朝か夕方方のことが多いが、時には昼間や夜だったりして慌てさせられる。道の出る時間はたった10分で終わることや、1～2時間だったり、その配給時間



高森君とインド学校生徒たち

は誰が決めるのかと常々疑問を抱いている。

では水道のない家はどうするのか？井戸のある家から水をもらったり、政府があちこちに手押しポンプを設置しているので、そこから水を運ぶのだ。水汲みは主に女性と子供の役割だ。

水不足はここだけに限らずインド全体の大問題だ。首都ニューデリーではボーリングを盛んにやり取水するため、水位が極端に下がり、それまで使用できた井戸が干上がっている。また農作物も渇水で大被害が出る。

水不足のみならず、インドでは電力事情も悪く深刻だ。カジュラーホーでは毎日朝8時から昼の12時まで停電だ。その他の時間帯も度々停電するので、懐中電灯、ローソクは欠かせない。何時間も停電しても誰も文句を言わず、夜でも平気で日常生活を続行している。インド人の目は夜行性動物の目なのかと羨ましくもなる。「日本では停電はないのか？」とよく質問される。「もし、日本でそうなれば・・・」と想像するだけでゾーッとする。

朝8時からの停電はわかっているのに、水道の供給が停電後に始まることがある。「じゃあ、モーターが動かせないのにどうやって取水するの？」と読者の皆さんは疑問に思われるだろう。心配しないで下さい。家の外の取水口に短いホースを接続して、金だらいに水を溜め、大きいマグカップですくってはバケツに入れるのだ。でも時間がかかるので腰が痛くなる。「政府はどうして停電になる前に、水道の供給を開始しないのか」といまだにプツプツ不平をこぼしている私だ。

編集後記

兵庫支部全諸兄弟の地区別名簿を掲載しました。兵庫県内800名に近い同窓生の活躍に、今更ながら意を強くします。

先輩・後輩・同期の健在を知り、旧交を暖める一助にと願っております。ただプライバシーを考え、郡・市までの表記にとどめました。ご連絡ご希望の方は、ご指名の方より電絡して頂くように致します。支部・編集部へご連絡ください。

また、住所変更、掲載の誤りは、是非ご一報下さる様お願いいたします。なお、都合により次号は名越支部長に編集を依頼しております。ご投稿をお願いします。締め切りは、毎月10日です。Tel 078-792-6120 まで。お待ちしております。